

2002年10月24日

コンパックコンピュータ株式会社
トウゲザーソフト・ジャパン株式会社**ソフトウェア開発の品質向上と開発期間の短縮を実現
Java環境のWebアプリケーション開発で「TCC」を標準採用
ーサービス事業拡大に向けて社内の開発フレームワークを統合ー**

コンパックコンピュータ株式会社(以下コンパック、本社:東京都品川区、社長:高柳 肇)とトウゲザーソフト・ジャパン株式会社(代表取締役社長:脇本 亜紀、本社:東京都渋谷区、以下トウゲザーソフト・ジャパン社)は、コンパックがJava™環境でのソフトウェア標準開発ツールとして米トウゲザーソフト社(TogetherSoft Corporation、ノースキャロライナ州)の「Together® ControlCenter™(TCC)」の採用を決定したことを発表します。

TCCは設計からコーディング、テスト、ドキュメンテーションに至るまでの開発プロセスを一貫してサポートし、ソフトウェアの品質と開発の生産性を向上させる統合開発環境です。

コンパックは今後、益々需要が高まるサービス事業拡大のための重点施策として、Webアプリケーション開発環境の充実、品質向上と生産性向上のための全社的プロジェクトを発足し、取り組んできました。この背景にはコンパックは高品質のサービスを提供することにより、お客様のビジネスチャンスの拡大に貢献していきたいという企業としての姿勢があります。

また、市場においてもインターネットやイントラネットの普及により、Webアプリケーションは次世代ソフトウェアの中核を担うと見られています。

そこで、コンパックはこのたび、企業向けWebアプリケーションの主要な開発基盤である「J2EE(Java 2 Platform, Enterprise Edition)」について、TCCを自社の標準開発ツールとして採用したものです。

同ツールの採用によりコンパックは以下の点を実現します。

- 1) J2EEベースの開発環境において分析・設計、コーディング、テスト、ドキュメンテーション及び、運用・保守までのプロセスを統合。
- 2) Webアプリケーション開発の品質の大幅な向上と生産性を150%^{注1)}以上向上。
- 3) TCCはWebアプリケーション・サーバの種類を問わず、いずれの製品にも対応可能で、開発ノウハウをTCCの環境の元で統合することが可能に。
- 4) これまで各業種別に配置していたソフトウェア開発体制をTCCのフレームワークにより一貫して統合できるため、開発ノウハウの共有による技術者のレベルアップ、業務効率化、開発体制の効率化も実現。
- 5) お客様である企業のシステム部門担当者にとっても開発プロセスの流れが明確になり業務効率化を実現。
- 6) Webアプリケーションの運用・保守性の向上。

コンパックは同ツールの採用とコンパックで蓄積されたノウハウでツールを拡張することにより、独自の開発環境を構築し、他SIベンダーとの差別化をはかります。

従来、Webアプリケーションの開発に当たっては、上流の分析・設計工程はモデリング・ツール、またこれに続くソフトウェアの開発、テストは開発ツールという形で分断されていましたが、TCCはこれをひとつのツールでカバーできるオール・イン・ワン型の開発環境です。ソースコードとモデル図が完全に同期しており、プログラムを変更すればモデル図も自動的に変更されるラウンド・トリップ開発が実現できます。

なおコンパックは、Webアプリケーションのもうひとつの主要な開発基盤であるマイクロソフトの「.NET」についても、注力していきます。

米トウゲザー・ソフトウェア社は、ベストセラー書籍である「Java Design」の主著者であり、分散オブジェクト指向やモデリング、Javaソフトウェア開発の専門家であるピーター・コード氏(Pete Coad、現会長)が1999年に創業した会社で、ソフトウェア開発プロジェクトの品質と生産性を向上するソフトウェアおよびサービスを提供しています。TCCは同社の主力製品で、最新版のTCC 6.0は完全に日本語化された製品として、2002年6月から日本法人であるトウゲザーソフト・ジャパン株式会社(東京都渋谷区恵比寿4-20-3恵比寿ガーデンプレイスタワー18階、Tel: 03-5789-5782)が販売しています。

<ご参考>

注1) 生産性150%向上の根拠

TIS株式会社によるサンプル・プロジェクトにおいて、TCCを用いた開発では、従来の開発(某社のUML

モデリングツール使用)に比べて工数が59%削減されました。また、米国EPL社では、従来2年半かかっていた開発が、TCC採用により6ヶ月で終了したことが報告されています。さらに、保守フェーズにおいても定量化は難しいが一貫した開発情報の保持・共有による品質の向上とノウハウの共有によって確実に効率化が図れる。とくにこれらに貢献する機能としては、1)モデル図とソースコードが常に同期している。2)ドキュメントの自動生成機能。3)リファクタリング機能。4)検査、測定機能。5)デザインパターン、コードテンプレート機能、などがあげられる。

参考URL <http://www.togethersoft.co.jp/products/controlcenter/features/index.jsp>

<登録商標>

- ・JavaおよびすべてのJava関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米Sun Microsystems,Inc.の商標 または登録商標です。
- ・その他の社名、製品名はそれぞれ各社の登録商標または商標です。

■TIS株式会社からのエンドースメント

TIS株式会社は本年4月よりTCCの導入推進、技術サポートを行なっています。当社の第一線の技術者からも高い評価を得ており、今回のコンパック様の決定が、さらに多くの企業様がTCCをご利用いただく契機となることを期待しています。

TIS株式会社
専務取締役 在賀 良助

一般からのお問い合わせ先
コンパックコンピュータ株式会社
システム統括本部 ビジネスインテグレーション推進本部
TEL:03-5349-3335
ホームページ: <http://www.compaq.co.jp/>

トゥゲザーソフト・ジャパン株式会社
営業担当 富山 篤優
TEL:03-5789-5787
sales.jp@togethersoft.com
<http://www.togethersoft.co.jp/>